

社長	事務長
	

## 【 議 事 録 】

作成者： 小野

作成日： 2024年3月26日

会議名	センター会議		
開催日時	2024年3月22日(金) 16:00~16:50		
場所	掛川電気会館 2階会議室		
出席者 (計5名)	直営班	： (浜電工業) 加茂 厚作さん	(中泉電気) 寺井 将晃社長
	センター	： 中村社長、鶴田常務、小野	
欠席者 (計1名)	直営班	： (寺井電機) 市川 俊さん	

### 議題1:2023年度下期 委託作業安全推進会議の報告

#### センター中村社長

- ・2月7日に開催した委託作業安全推進会議について、資料に沿って報告を行なった。
- ・安全管理基本計画は2024年度の新しい資料を追加し、直営班に対し安全作業の徹底を強く求めた。

#### センター小野

- ・建設用の足場がある現場で送電を求められた場合、作業を中止し中電 PG 設計部署(電話が繋がらない場合は検査部署)へ連絡して指示を仰ぐよう、直営班へ周知した。

### 議題2:その他

#### (1) センター小野

ゴールデンウィーク期間中における、センター事務所・直営班の休暇および計器宅配受取の可否について確認し、直営班の了解を得た。

#### (2) センター中村社長

“効率化に向けた検討テーマについての委員会における検討結果(中電PG対応分)”資料を直営班へ配布した。(内容については、各社持ち帰り確認する。)

#### (3) センター中村社長

- ・「個人ランク」取得希望者(新規)の有無を直営班へ確認した。
  - 浜電工業・・・複数名いる模様(現在aランク保持者)
  - 中泉電気・・・無し
  - 寺井電機は欠席のため後日確認する。

- ・個人ランクsの従事者数が各社変動しており、施工担当区域見直しについて、今後検討したい。
- ・直営班に経験者が入社した場合、新規でsランクを取得するまでの期間、技能を生かせない。  
⇒新規sランク認定訓練と同時、あるいはその直前に個人ランクaの認定訓練を実施するような対策を今後検討する必要がある。

## 次回センター会議 : 未定

上記内容について、株式会社掛川電気引込工事センター直営班の了解を得られました。

寺井電機株式会社	代表取締役社長	小林 美喜	(代理)市川 俊	㊦
浜電工業株式会社	代表取締役社長	松田 匡介	(代理)加茂 厚作	㊦
有限会社中泉電気工業	代表取締役社長	寺井 将晃		㊦



効率化に向けた検討テーマについての委員会における検討結果(中電 PG 対応分)

効率化に向けた検討テーマについては、2022年8月に各県協力会から提案を受け、委員会において検討してきた。今回、概要検討が完了したことから、その結果を報告するとともに、詳細検討を開始することとしたい。  
なお、詳細検討&実施は、次により分担実施する。(下記以外のテーマについては、各県協力会、各電気引込工事センターにおいて、中電 PG と調整し検討する。)

① 中電 PG 対応分 資料 1  
② 事務局対応分 資料 2

2 引込・内線工事に関する施工効率向上策  
工法、工具、ルールの改良・改善等の考えられる方策について記載する。

施工効率向上策の内容	現行の課題	考えられる対策および課題	期待される効果の度合い
<p>静岡(清水)</p> <p>・対象の計器工事時に必要となる脱落としやボルト貫通施工等について、協力工事店以外はその施工対象となることや方法もわからないとよく言われ、センターに問合せいただき施工の必要性や方法をお伝えしている。(事前連絡をセンターから入れているのでこちらに問合せが入る)</p> <p>効率化推進委員会としての対応(案) ○未加入店への周知方法の一つとして、未加入店も保有していると思われる内線規程別冊に、計器取付場所、取付位置、計器付近の配線についての記載があるが、電線太さの記載がない。次回改定時に記載するよう中電 PG で検討する。⇒中電 P G で対応</p>	<p>・施工不可と判断した場合、中電又はセンターより電気店へ改修依頼を連絡して内容と施工方法をお伝えしている。その後の日程再調整や改修完了確認をする。 中電さんが言うには引込承認がおりて設計図が電気店宛に電子で飛ぶ際に脱落としやボルト貫通の依頼を設計図上で記載しているとのことだが、設計図を見てその依頼を把握している電気店さんがほほいしない。</p>	<p>未加入工事店への教育や周知を中電のオンラインホームページ送付だけの活用ではなくもっとわかりやすく知る機会を未加入工事店へ向けて作ってほしい。</p>	<p>・不明</p>
<p>静岡(掛川)</p> <p>(1) DVグリッドの拡大採用。2.6mmと3.2mmにもDVグリッドがあると便利。</p> <p>(中電 PG 回答) ⇒細物(3.2mm以下)への適用については、コスト等を総合的に考慮し採用を見送った経緯にある。将来に向けた検討は続けるものの、当面の実現は困難のため、ご理解いただきたい。</p>	<p>DV端子は脚器なので割れる・欠ける。DV端子だとDV線にクセがついてしまう。</p>	<p>14mm以上のDVグリッド採用にて作業性・効率性は格段に上がっている。細かい電線用も欲しい。</p>	<p>DVグリッドは樹脂なので割れ・欠けの乙品はほほ出ない。</p>
<p>三重</p> <p>・電気店と連絡が取れない時があり、都度電力に確認している。(電力に申込時に帯帯を記入する箇所があるが伝票へは反映されたいため、システム変更をお願いしたい)</p> <p>(中電 PG 回答) ⇒申込時点における工事店連絡先を工事票に反映するシステム改修を10月2日に実装済。</p>	<p>・電気店の申込時点における記載事項(帯帯番号)をセンターで発行する工事票に反映されたいため、システム変更を願いたい。(受付段階において、電話の繋がる電話番号を記載する事を原則とする)</p>		

施工効率向上策の内容	現行の課題	考えられる対策および課題	期待される効果の度合
<p>・素通しSBが必要になる場合があるが、現在は都度中電に取りに行っているが、ある程度センター管理として管理面は日々報告するルーチンが望まれる。</p> <p><b>効率化推進委員会としての対応(案)</b> ○素通しSBの宅配方法を含め中電PGにおいて検討する。</p> <p>・メッセンジャーを取付した時の工量、既設メッセンジャーに碍子を取付した時の工量がついていない。</p> <p><b>効率化推進委員会としての対応(案)</b> ○中電PGで確認する</p>	<p>・素通しSBについては、センター管理として、2-3ヶ月程度に一度管理状況を中電さんに報告とする。</p>	<p>・メッセンジャーを取付した時の工量、既設メッセンジャーに碍子を取付した時の工量を考えたい。</p>	
<p>岐阜</p> <p>・光ファイバーとの離隔60cm以上の規定を短くする。</p> <p><b>効率化推進委員会としての対応(案)</b> ○中電PGとしては、電気設備技術基準の改訂時に必要性を含め検討し意見提起したいとのこと。⇒中電PGで検討する。</p>	<p>・60cm以上</p>		
<p>長野</p> <p>(1)・DV線用巻付グリツツ38, 60, 100用の物を特殊加工等して、現状の巨長より長くても使用できるよう改善をしていただきたい。</p> <p><b>(中電PG回答)</b> ⇒ご意見として用品開発担当者に提言させていただく。(メーカー確認中)</p>	<p>・現在 38=30m, 60=20m, 100=15mまでしか使用できない為、これ以上の巨長は引留碍子に手打バインド工法で実施しているが、本物のDV線では、くせ取り等非常に作業しづらく時間もかかりロスが大きい。</p>	<p>・今の巻付グリツツの本数を1本×2ではなく、2本×2で引留するか、今の巻付グリツツを少し長くして安全率を取るか、グリツツに滑り止の特加工等の検討を。</p>	
<p>長野</p> <p>(2)・メッセンジャーの現場で、片方でメッセンジャー取付できれば玉碍子の取付不用にしてほしい。</p> <p><b>効率化推進委員会としての対応(案)</b> ○中電PGで検討する。</p>	<p>・1スパンの両側に玉碍子を取付して作業しているが、市内地ではNTT及び光ファイバー、有線TV等が有りかわすのに時間がかかり、また他社設備を損傷させないよう高所誘導したりと非常に時間がかかる。</p> <p>・また、施主の支持点の関係で、玉碍子手前で分岐の工事も非常に多くなっている。(分岐地等)は、後から行って別の工事のときにメッセンジャーを取付して作業している。</p>	<p>・最初からメッセンジャー取付したら他社設備の損傷リスクも減り、別の工事で行った時もわざわざメッセンジャー工事をしなくてよい。</p>	

3 業務効率向上策

工事伝票の受領から竣工報告までの業務（諸手続を含む）運営ルールの見直し等、考えられる方策について記載する。

業務効率向上策の内容

業務効率向上策の概要を記載する	現行の課題	考えられる対策および課題	期待される効果の度合い (わかる範囲で期待される効果（業務量、費用、工期等）を、1件あたり又は、累次の年間累計等で記載する）
<p>名古屋 (2) [道路使用許可の電子申請の導入] 日本政府は、デジタル時代の官民のインテラを今後5年以内に一気呵成に作り上げることを目的にデジタル庁を発足させている。この機に、現行、書面申請手続きしている道路使用許可申請の電子化導入に向け、官民のデジタルインテラのみニューとして取り上げるよう、連合会として働きかけていただくようお願いしたい。</p>	<p>(現行の取扱方法、課題等を記載する) 都度、件名を所轄する警察署に出向き、所定書類にて申請手続きを行っている。</p>	<p>道路使用許可申請の電子化導入</p>	<p>申請手続きに要する出向時間の大幅削減</p>

効率化推進委員会としての対応(案)

○中電PGとしては、機会を捉えて全国六に提案すること。⇒中電PGで検討する。

静岡 (静岡)

(1) S B撤去 (回収) のみの場合の施工箇所の検討  
一般者が施工する、計器工事不要の増設、分電盤取替、太陽光新設などで、工事内容がS B撤去だけというものがある。  
工事内容はS B撤去であるがS Bは撤去されていて、センターの工事は無くS Bの回収に向向している。  
既に撤去されているS B回収の出向者を変更する。

ほとんどの電気工事は屋内線工事を完了させ、S Bを取り外してお客さまに預けている。電気工事に「回収日時はお客さまと調整するように」と言われる。お客さまとの連絡調整に苦勞することが多く、山間部にも出向しなければならず非効率。お客さまとの連絡調整、回収出向で1件当たり3工量では見合わない。

内線工事が施工されているので、中部電力PGがしゅん工調査に出向する。この時にS Bを回収してくる。  
S B撤去 (回収) のみの工事はセンターに交付しない。

お客さまとの連絡調整、回収出向の人工を削減できる。  
月平均10件、年間120件程度あり。

効率化推進委員会としての対応(案)

○中電PGで実態を確認し検討する。

静岡 (清水)

(1) ・センター回付時に日時指定工事が多く、方面がバラバラで入る為非効率になる。又、事前連絡希望も非常に多く事前に工事調整をとってから決定となるため調整時に時間を割く。  
指定工事のほとんどが常時や臨時の引込・撤去工事で立会もないため、指定ではなく数日間もたえないのか電気店さんへ連絡すると3日間指定が選べないから1日指定にしているという声をよく聞く。  
記載されている通りの日程を希望する電気店さんのほうが少なく事前連絡で日程が確定するので申込時の記載期間の意味があまりない。

・停電や立会のない日時指定工事は指定を解除するための連絡をセンター事務局から電気店へ連絡をして調整する。

・中電システム上、工事指定が全ての工事内容でとれてしまうことが工事指定を多くしており、停電有工事又は立会工事のみが指定が選べるシステムにしてはしく、そして電気店からもよく要望される二日間～三日間の期間指定が選べるようになってほしい。

・不明

効率化推進委員会としての対応(案)

○期日指定は、3日間程度を指定できるようになっているが、カレンダーが一杯のためその日しか指定できないことも考えられる。⇒中電PGとして実態を確認し検討する。

・不明

業務効率向上策の内容	現行の課題	考えられる対策および課題	期待される効果の度合い
<p>・ 臨時撤去は中電 PGにて作成しているが、電気店申込の際に新設・増設よりも直近で短期間の施工希望が選択できてしまい新設・増設よりも優先して最速で施工をしている。</p> <p>・ センターの工事計画表が撤去申込時に電気店さん側へ反映されていない。</p>	<p>・ 臨時撤去は伝票作成する中電さんのほうで一度聞き取ってくれているのでその際に聞き取った希望で受けられるか返答している。</p>	<p>・ 臨時撤去の申込時にセンターで登録している工事計画表が反映されるようになってほしい。</p> <p>・ そうすると最速でも、発行即日から四日間ほもらえる。</p>	
<p><b>効率化推進委員会としての対応 (案)</b> ○中電 PG で実態を確認し検討する。</p>			
<p>静岡 (藤枝)</p> <p>(10) 自主検査項目欄に「計器BOX」にチェック欄を入れて欲しい 紙のしゅん工票にはチェックする欄があったが、システムにはない 支払に関することなので中電 PG と共有したい</p> <p><b>効率化推進委員会としての対応 (案)</b> ○中電 PG において検討する。(委員会において、現行と改定案とのいずれが運用しやすいか検討する。)</p>	<p>現在は別にセンターで「チェック欄」を用意している</p>	<p>システムの改良</p>	
<p>三重</p> <p>システム変更 PI 活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事店様からゼロハチされるとセンターに伝票が届く仕組みになっているが</li> <li>・ 中電様へ届く際に変更できないか。その後、現在の PI で修正の訂正内容を</li> <li>・ 変更してからフローをセンターへされるとかできないか。</li> </ul> <p><b>効率化推進委員会としての対応 (案)</b> ○中電 PG で実態を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事伝票を受領したすべくに PI で修正が入る。</li> <li>・ その都度、フロー戻し修正し中電様も再フローされる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事店様がゼロハチするとセンターに入るシステムを中電様に入るように変更していただけたら、その時点で追記し確認いただけないか。修正連絡の PI の数も減り事務面でもお互い削減できるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々実施している伝票発行および竣工等の処理が滞りなく処理する事が可能となる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助力の計器取付の場合先方幹線の太さを載せてほしい。</li> </ul> <p><b>効率化推進委員会としての対応 (案)</b> ○電灯、電力双方の契約がある場合、どちらが電灯、電力であるのかわからない。⇒中電 PG において、対応方法を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太さの記入がない。</li> </ul>	<p>記入してほしい。</p>	
<p>岐阜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事申し込み伝票に工事者の繋がる電話番号を記載する。</li> </ul>	<p>→電話がつながらない。会社にかかっても対策のしようがない。</p>	<p>→工事者の船対つながる携帯番号を記載したらどうか。</p>	<p>→迅速な対応が可能になる。</p>
<p><b>(中電 PG 回答)</b> ⇒申込時点における工事店連絡先を工事票に反映するシステム改修を 10月2日 に実装済。</p>			

業務効率向上策の内容	現行の課題	考えられる対策および課題	期待される効果の度合い
<p>・工事伝票の厳格化を推進する。最初で承諾の「し点」を求めて、申し込み責任の重さを感じてほしい。</p>	<p>→申込書の内容にかかなりの相違がある。</p>	<p>→内容に不備があった場合は、申込み不可、再申込は14日後となるようなシステムにしてほしい</p> <p>・インターネットシステムに施工方法の資料を入れてほしい</p> <p>・施工日2~3日前に最終確認チェックが入らないうちに入力できるようにしてほしい</p>	<p>→何でもかんでも引き受けてしまふ今の体質の改善につながる。</p> <p>→何も知らないアウトサイダーに対して勉強になる。</p>
<p>効率化推進委員会としての対応 (案)</p> <p>○実情、必要性を確認する。⇒中電PGにおいて検討する。</p>			
<p>長野 (1)・中部電力パワーグリッドのシステムのさらなる改良を希望する (20231003付記)</p>	<p>・伝票が回付された順番でなく、先方工事店の希望に加え足順など施工効率を考えて施工日を決定している。</p> <p>・現行のシステムでは、施工予定を入力すると、先方工事店に通知が届くため、最終決定まで入力できない。そのため、別に管理表を作成し施工日管理をしている。(二重管理)</p>	<p>システムの改良をお願いしたい</p> <p>・システム内で縦々に並び替えができるようにする。</p> <p>施工計画のための施工日入力と先方への通知は、別のものとする。</p> <p>システム内だけで施工計画、伝票管理ができる。</p>	<p>1件あたり又は、県大の年間累計等で記載する)</p> <p>施工計画と伝票管理の二重管理が改善されることで、かなりの業務量減少につながる。</p>
<p>効率化推進委員会としての対応 (案)</p> <p>○各委員会が出たご意見等を踏まえ、中電PGで対応可否を検討する。</p>			

業務効率向上策の内容	実行の課題	考えられる対策および課題	期待される効果の度合い
<p>長野</p> <p>(2) ・引込支持点へ有料防護が取りつけてある現場で、引込線張替が発生した場合の取扱いは、引込線の明瞭化 (20231006付記)</p> <p>効率化推進委員会としての対応 (案)</p> <p>○実情、必要性を確認する。⇒中電 P G において検討する。</p> <p>ホリ管施工工量の是正 (20231006付記)</p>	<p>・引込支持点に防護シートが取りつけられている場合、引込線張替工事が発生した場合、施工不能となる (センターでは防護シートの取付撤去が不可)</p>		<p>・再出向口の確保</p>
<p>効率化推進委員会としての対応 (案)</p> <p>○実情、必要性を確認する。⇒中電 P G において検討する。</p>	<p>・ホリ管施工工量が労力費用に見合わない</p>	<p>・ホリ管施工工量の是正およびホリ管大口径施工区分の新設</p>	
<p>・専門班への伝票振分け作業の効率化</p> <p>・都度施工店について説明 (長野県の引込センターには空中分岐なし・高圧活線なしが必要の都度引込工事を実施する都度施工店が存在する。)</p> <p>効率化推進委員会としての対応 (案)</p> <p>○実情、必要性を確認する。⇒中電 P G において検討する。</p>	<p>・引込工事センターの専門班・都度施工店 (店) には、高圧活線接近作業ができない都度施工店があるため、変圧器柱での引込線工事の伝票のうち、契約センター承認分) について、中電に変圧器柱の装柱を確認して伝票振分けをしている</p>	<p>・「引込線内線工事設計図」の変圧器柱欄に装柱記号 (シ・ハ等) を印字する</p>	

5 その他  
上記以外の事項

<p>三重</p> <p>・現在、未加入電気店の申込書は、県協会の共同受注業務規程により、各センターにおいて支持点、第1柱等の施工完了確認を行っているが、受付時点(工事票発行時)において何時出来るのか記載できるシステムにして頂きたい。</p> <p>効率化推進委員会としての対応 (案)</p> <p>○実情、必要性を確認する。⇒中電 P G において検討する。</p>
---

以上